

アジア太平洋における持続可能な社会への移行を加速する： 統合、包摂、ローカライゼーションがもたらす変革の可能性

Accelerating Sustainability Transitions in Asia and the Pacific: The Transformative Potential of Integration, Inclusion and Localisation

地球環境問題の解決は、途方もないスケールの挑戦です。世界をより持続可能な方向に導くために、これまでさまざまな目標、ターゲット、指標が合意されてきました。しかし、地球の平均気温の上昇やその他の環境ストレスの兆候は、人類がプラネタリー・バウンダリー（地球の限界）を越え、ティッピング・ポイント（不可逆的な転換点）を迎えている可能性を示唆しています。こうした困難な状況にあるものの、私たちが開発をより持続可能な方向に導く改革を採用できる道は、まだ残されています。

その道を進むためには、迅速な行動が不可欠です。持続可能な開発目標（SDGs）とパリ協定の進捗は遅れており、複数のレベルで行動を加速させなければなりません。新たに合意された昆明・モンリオール生物多様性枠組も、強力かつ素早いスタートを切ることが目標達成にはとても重要です。

また、迅速な転換にはアジア太平洋地域のリーダーシップも必要です。特に世界で最も人口の多い地域であるアジアは、開発経路の転換に向けた取り組みの最前線に立つ必要があります。アジア太平洋の国々は、持続可能な社会への移行を加速させるために、3つの変革的ダイナミクスを活用することができると考えます：

1. 統合：気候変動、生物多様性、循環経済にまたがる相乗効果を最大化し、トレードオフを最小化することは、持続可能性アジェンダを推進する上で不可欠である。
2. 包摂：現在社会から疎外されている人々や不利な立場に置かれている人々を含め、すべての主体が自分たちの望む未来を形成できるよう力を与える（エンパワーする）ことは、持続可能性アジェンダ達成への勢いを強めることになる。
3. ローカライゼーション：それぞれの地域の状況に合わせた解決策を講じることで、持続可能性アジェンダのオーナーシップと支持を促進することができる。

「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム2023」（ISAP2023）は、これら3つのダイナミクスについて議論し、アジア太平洋、そして世界において持続可能な社会への移行を加速させるためにどのような貢献ができるかを検討するため、一連のインタラクティブなイベントやセッションを開催します。

全体会合（ハイブリッドイベント）

2023年12月19日（火）9:00~17:30

テーマ別会合（オンラインイベント）

2023年10月~2024年1月の期間内にて
複数のテーマ別会合を開催



ISAP 2023
持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム

<https://isap.iges.or.jp/2023/jp/index.html>

